

佐渡市立新穂中学校 学校だより

新穂の穂り

教育目標

やさしく つよく あたらしく



☎22-2067

FAX22-3838

niibo-js@sado.ed.jp

令和2年3月25日

二つの心「第73回卒業証書授与式 式辞」

校長 小沼 泰高

春の息吹が樹木に満ちあふれている中、只今23名へ卒業証書を手渡しました。この1枚の紙には、9年間の義務教育を終えたことなど実に様々のひと・こと・ものが宿されています。

卒業生の皆さんは、3年前、将棋の藤井プロや卓球の張本選手など、中学生パワーが脚光を浴びた年にこの新穂中学校に入学しました。そして、「変心」、心を変える、新たな心を築くという学級目標を立て、中学校生活をスタートさせました。心が変われば態度が変わる、態度が変われば行動が変わる、行動が変われば習慣が変わる、習慣が変われば人格が変わる、人格が変われば運命が変わる、運命が変われば人生が変わるという格言を、皆さんへ伝えたことがあります。この言葉は先に亡くなった野村監督も好んで使っていたそうです。

あれから3年、心、態度、行動、習慣、人格と大きく成長を遂げ、中学校生活そして義務教育集大成の今年、皆さんはその成果を遺憾なく発揮しました。リーダーはどうあればよいかを問うことから取組をスタートさせた体育祭では、3年生の教え方や指示が上手だったという感想が、1、2年生からたくさん寄せられました。より良い合唱を目指し、練習100回を目標に掲げ、昼休みも歌い続けた文化祭活動。文化祭後の振り返りには、仲間との繋がりが更に強まった、一人一人に全校を引っ張ろうとする姿が見えたなど、皆さんの成長を裏付ける感想を学級だよりに見ることができました。そして、私が何よりも皆さんの成長を感じたのは、仲間作り集会での皆さん一人一人の姿でした。縦割りグループの話し合いでは、決して上級生ぶらず、1、2年生の発言を促し意見をまとめていました。また、高校入試の面接練習で、成人年齢の18歳引き下げや選挙権について意見を聞いたところ、少子高齢化の中にあって自分たちの力が期待されているということだ、自分たちも世の中のために何かできるのだという自信が湧いてくるといった大変頼もしい答えが返ってきました。その姿は、人権活動家のマララさんや環境活動家のグレタさんを彷彿とさせるものでした。

そんな皆さんの成長を大変うれしく思い、新たな生活へと進む皆さんへ、私から心に関する二つの話を餞として送ります。

一つは人と繋がる心です。人類は、狩猟社会、農耕社会、第一次産業革命、第二次産業革命、情報社会を経て、人工知能社会への変革に突き進んでいます。その世界は、不透明で不確実です。もしかすると、新型コロナウイルスのために先行きが読めない今の状況と同じなのかもしれません。そんな中であって、人同士の繋がりが一層重要になります。SDGsの学習や諸活動を通して繋がることの大切さを体感してきた皆さんなら、その重要性がよくわかると思います。

二つ目はレジリエンスです。これは、丈夫でしなやかで、復元力がある心の有り様を意味する言葉です。石のように固くてもろい心は碎けます。かといって、柔らかい心だけでは自分がなくなり、元に戻れません。逆境や困難に遭っても、どうしたら乗り越えられるか考えることを大切にしましょう。競泳の池江璃花子選手は、皆さんと同じ十代ですが、順風満帆だったアスリート生活から闘病生活に一転しました。そして病床の中で考え、悲しみを克服し、次のオリンピックを目指して始動しました。始動しただけでなく、闘病中に自分へ手向けられた献血への感謝を込めて、新型コロナウイルスで不足している献血を呼びかけています。池江選手の不撓不屈の心、現実を受け入れ、今自分にできることを考え向き合う柔軟さ、そして、相手への感謝と思いやりを忘れない心を私たちも見習いたいものです。この二つの心を、皆さんの立志に加えてほしいと思います。

最後に保護者の皆様、御卒業誠におめでとうございます。

23名の未来に幸多からんことをお祈り申し上げ、式辞といたします。

三年生を送る会 新生徒会役員初仕事

2月26日(水)三年生を送る会が行われました。

1、2年生は、歌やダンスで卒業の祝福と感謝の気持ちを3年生へ伝えました。また、転出職員からのお祝いメッセージやクイズなどの新役員による企画もあり、来校された保護者と一緒に楽しい時間を過ごしました。



第73回卒業証書授与式

臨時休校の前日3月3日(火)、全校予行練習を行いました。最後は全校で「旅立ちの日に」を歌い、卒業生と在校生がお別れをしました。3月12日(木)は、在校生と御来賓が不在の中での式となりましたが、集合写真を撮ったり、保護者と教職員で花道を作って見送ったりするなど、普段の卒業式とは違った形で23名の旅立ちを祝福しました。



ありがとうございました転出教職員挨拶

「失敗こそがエネルギー」

本間 吉昭 教諭（退職、赤泊中へ再任用）

小説『ころも』の中で漱石は「向上心のない人間はバカだ」と言っています。（いきなり言葉が悪くてすみません。）私はだいぶ年を取ってしまいましたが、逆に年を取るほど、人間は幾つになっても前進しようとする気持ちが必要と感じます。今まででもいろんなことに挑戦してきたつもりですが、これからも体力と気力の続く限り、いろいろなことを体験したいと思います。やらないより、やって失敗することが大切です。失敗こそが次のエネルギーとなるのです。

最後に、保護者の皆様、地域の皆様の御厚情を心より感謝申し上げます。

「豊かな感性と温かく優しい笑顔」

風間 広樹 教頭（赤泊中へ）

皆さんとの美術の授業はすごく楽しかったです。そして、皆さんが創り出す作品のすばらしさには感心、感動することしきりでした。作品一つ一つに、皆さんの心の豊かさが滲み出ていました。

私は、そんな皆さんの活動風景をたくさんの写真におさめてきましたが、どの写真からも皆さんの優しさと温かさが伝わってきました。いつまでも、「やさしく つよく あたらしく」のすてきな新穂中生でいてください。

保護者の皆様、地域の皆様、3年間ありがとうございました。

「賞状倍増計画」

橋 和広 教諭（真野中へ）

5年前、赴任当初に生徒に言ったのが「佐渡市陸上大会賞状倍増計画」でした。その頃の新穂中は、4月当初の陸上練習が設定されておらず、活動は部活終了後の30分だけでした。しかし、大勢の生徒が練習に参加し、短時間で一生懸命に活動してくれました。練習時間を確保しようと朝練習に取り組む生徒も多くなりました。結果、その年に県大会に3年生3名、通信陸上大会に1年生1名が参加できました。翌年は2年生女子2名が北信越大会に参加できました。

現在も多くの生徒が所属し、陸上部は大会で結果を出し続けていますが、たった5年前のスタートは

このような状況だったのです。

学校の歴史、伝統は在籍している生徒の皆さんが作り上げる物です。これからも活動に意欲的に取り組み、いろいろな場所で「新穂旋風」を巻き起こしてほしいと願っています。

地域の皆様、保護者の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

「お世話になりました」

石塚 彩香 教諭（十日町市川西中へ）

新穂中学校には新採用で3年間お世話になりました。初めてのことが多く、てんやわんやしながらあっという間に過ぎた3年間でした。新穂中で1番の思い出は、生徒の皆さんとたくさん話したことです。はまっていることや進路のこと、悩みや恋バナ…。「こんな風に話せるのは若いうちの特権ですよ」と某3年生に言われましたが(笑)、本当にそのとおりでと思います。最後に、保護者の皆様にはたくさんの御協力をいただき、地域の皆様からは温かく支えていただきました。本当にありがとうございました。

「一日一日を大切に」

山崎 律子 養護教諭（新潟市赤塚小へ）

「先生は何歳の時が一番楽しかった？」ある日、ある生徒から質問を受けました。私は迷わず、「今が一番！」と答えました。この一年間、一日一日を、私なりに大切に過ごしてきました。そうすると、生徒との関わりや保健室での何気ない会話が愛おしく思えて、毎日が充実したものになりました。

自然豊かな新穂で過ごせたこと、いつも温かい地域の皆様や保護者の皆様、そして素直で優しい新穂中の生徒の皆さんに感謝しています。

4月の予定（3月現在の予定です）

- | | |
|--------|----------------------------|
| 6日（月） | 新任式 始業式 入学式 昼食持参 |
| 8日（水） | 生徒会オリエンテーション |
| 9日（木） | 身体計測・視力聴力検査 |
| 14日（火） | 山王祭り見学 尿検査 |
| 15日（水） | 1年生心臓検診 生徒会専門委員会 |
| 17日（金） | 耳鼻科検診 |
| 22日（水） | 1年生新穂探訪 2年生島内探訪
3年生給食有り |
| 29日（水） | 昭和の日 |
- ※ 3年生の修学旅行は、10月に延期しました。
※ 全国学力・学習状況調査は中止です。